

User's Manual



Shepherd (参考用)

VIVOTEKカメラの一括管理と設定ユーティリティ



Rev. 3.4

ソフトウェア rev. 3.4.x



この製品マニュアルは、ビボテックジャパンが日本のお客様向けに日本語で作成した参考用の資料です。
より詳細な内容、最新のバージョンについては、VIVOTEKウェブサイトの製品ページより英語版をダウンロードのうえご参照ください。

本マニュアルについて

Rev. 1.0: このマニュアルは、Shepherd rev. 2.1.0.0以降について説明しています。

Rev. 1.1: IP範囲サーチ機能を追加。

Rev. 1.2: 強力なパスワードポリシーの説明を追加。

Rev. 1.3: 適応解像度、デバッグレポート、Smart Stream IIに対応、デフォルトおよび選択できるブラウザに対応、DRM情報の説明を追加。Shepherd IIをShepherdに名称変更。

Rev. 3.2: NVRファームウェアの一括アップロード、NVRデバイスリストのエクスポート、パッケージ構成の一括セットアップ、トレンドマイクロIoTパッケージの一括セットアップ、工場出荷時設定値の復元の例外を追加。

Rev. 3.3: LPRパッケージ機能のインポートおよびエクスポート、SDカード管理の追加。

Rev. 3.4: サイズ変更、最大化、ウィンドウサイズの復元に対応。

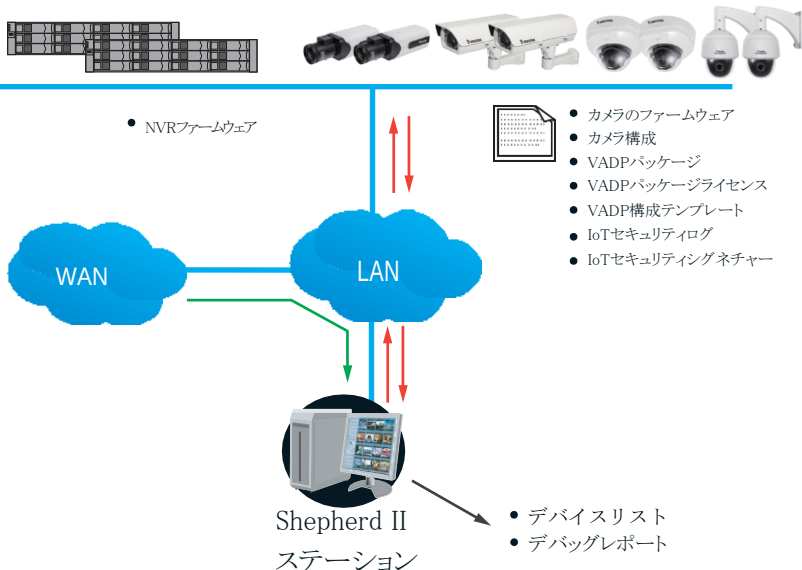
カメラのホスト名の表示を追加。

UI テキスト言語の更新に対応。

SDカードまたはカメラのフラッシュメモリへのパッケージのダウンロードが選択可能。

機能の説明

Shepherdユーティリティは、複数のカメラの設定を容易にするインストールおよび管理用ツールです。このツールは、ネットワーク内のカメラの自動サーチ、IPアドレスの割り当て、接続の表示、ファームウェア/ソフトウェアのアップグレードの管理、複数のカメラの一括設定に使用できます。



I. 要件

Shepherdは、WindowsのOSに対応しています。オペレーティングシステムを最新のサービスパックで更新してください。

- Windows 10, 8, 7

- 以下は、個々のネットワークカメラにアクセスするための通常のTCPポートです。

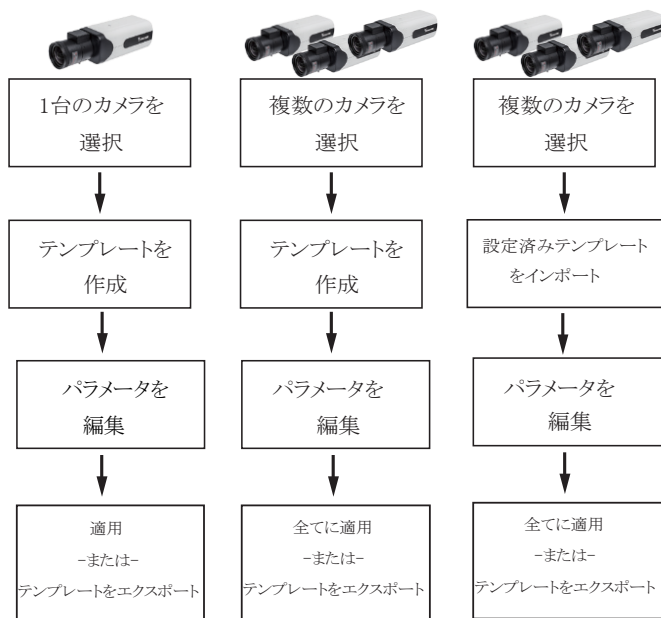
ネットワークの一般的な設定:

HTTPS = 443
FTP = 21

ストリーミング:

HTTP = 80
セカンダリHTTP = 8080
RTSP = 554
ビデオ用RTP = 5556
ビデオ用RTCP = 5557
オーディオ用RTP = 5558

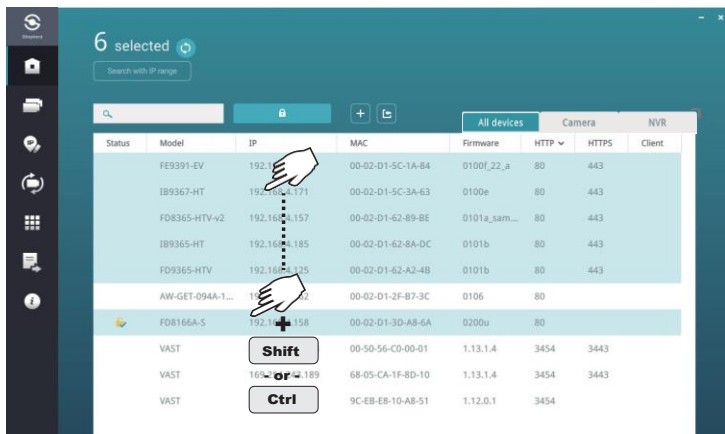
- Shepherdユーティリティで1台または複数のカメラを選択して新規のテンプレートを作成し、続いて詳細なパラメータを編集できます。既に標準のテンプレートがある場合、テンプレートをインポートして、1台または複数のカメラに適用できます。



 VASTサーバーおよびNVRもデバイスリストに表示されますが、これらを設定時に選択することはできません。

II. 設定手順

1. ユーティリティを開始して数秒後、同一のサブネットの全てのカメラがホームページにリストアップされます。Shepherdは、例えば“172.18.x.x.”のように最初の2つのアドレスオクテット値が同一である同じネットワークセクションに存在するカメラを特定することができます。
2. 次に、マウスのクリックとShiftまたはCtrlキーとの組み合わせで1つまたは複数のデバイスを選択できます。



現在のサブネットの外部のデバイスには、手動でIPアドレスを入力することでアクセス可能です。



以前コンピュータにエクスポートした**デバイスリスト**がある場合、そのデバイスリストを利用して、構成プロファイルに保存したカメラに迅速にアクセスできます。異なるサブネットにある別のShepherd上で作成されたデバイスリストも、異なるサブネットにあるカメラへのアクセスに使用可能です。

[カメラ]タブで選択したカメラのステータスを確認でき、[NVR]タブで全てのNVRのステータスを確認できます。

接続されたカメラの各々が以下の情報と共に表示されます：

ステータス: デバイスの接続時に[オンライン]アイコン  が表示されます。Shepherdユーティリティがデバイスを接続できないときは、このアイコンは表示されません。

モデル: デバイスのモデル名。

IP: デバイスのIPアドレス。デバイスがDHCPサーバーからIPアドレスを取得できない場合、デバイスのアドレスはデフォルトの169.254.x.xとなります。

MAC: デバイスに付属するMACアドレス。

ファームウェア: ファームウェアのリビジョン番号。

デバイスのウェブコンソールを開く場合、リスト上のデバイス表示をダブルクリックします。



行の最後にHTTP、HTTPS、およびクライアントポート番号が表示されます。VIVOTEKのNVRは、VAST CMSソフトウェアまたはiViewerからのアクセスが可能です。クライアントポートは、アクセス用のポート番号を表示します。クライアントポートは、NVRのファームウェアのrev. 2.2.0.1以降について表示します。

サブネット内に複数のカメラがある場合は、サーチパネルを使って特定のカメラを探すことができます。

1. モデル名の一部を入力します。例えば:

- “IP” (ボックスカメラ)
- “FD” (固定ドームカメラ)
- “SD” (PTZカメラ)
- “JB” (屋外バレットカメラ)

モデル名に含まれる任意の英数字を検索条件として使用できます。

2. IPアドレスを検索条件に使用して、デバイスリストの検索範囲を狭めることもできます。例えば、**172.18.202.x**と入力すると、同一のクラスCのアドレスのデバイスのみが表示されます。
3. MACアドレスとファームウェアのリビジョン番号も使用できますが、例えば**"31-b4"**のように、MACアドレスの二桁毎に間にダッシュ**"-"**を入れることが必要です。
4. スペースを用いて検索条件を組み合わせることができます。

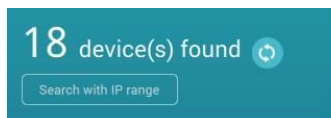
例えば、“202.x IP83”と入力すると、172.18.202.xのサブネット内のIP83xxシリーズに属するカメラのみがリストアップされます。

VIVOCam PoEスイッチを直接管理することはできませんが、検索してダブルクリックすることでウェブコンソールを開くことができます。



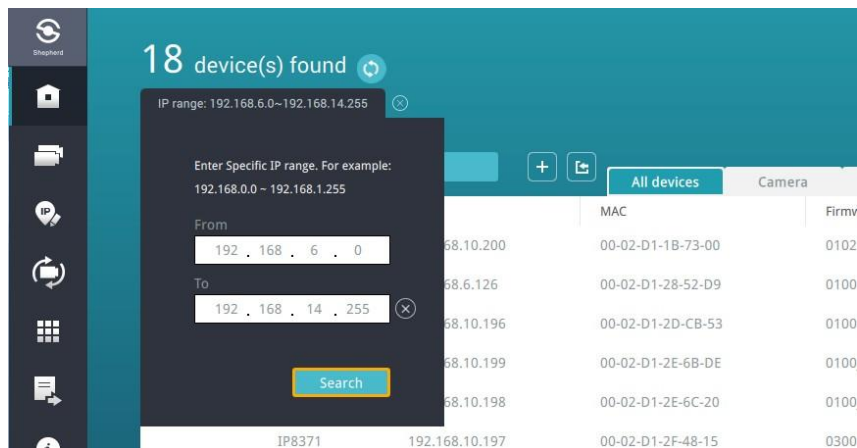
Shepherdは、画面の解像度を自動的に検出して、適切な表示サイズを選択します。表示の解像度を手動で変更したい場合（例えば4Kモニタ上で小さいサイズのウィンドウを使用する場合）、**F11**キーを押して解像度を変更します。

6



IP範囲機能を用いたサーチで、例えば“172.18.x.x.”のように最初の2つのアドレスオクテット値が同一であるネットワークセクション内の検索が可能です。デフォルトは、0.0.0.0となります。手動でIPアドレスを入力し、範囲を選択して入力する必要があります。このサーチ機能を使用する際は、以下をご確認ください：

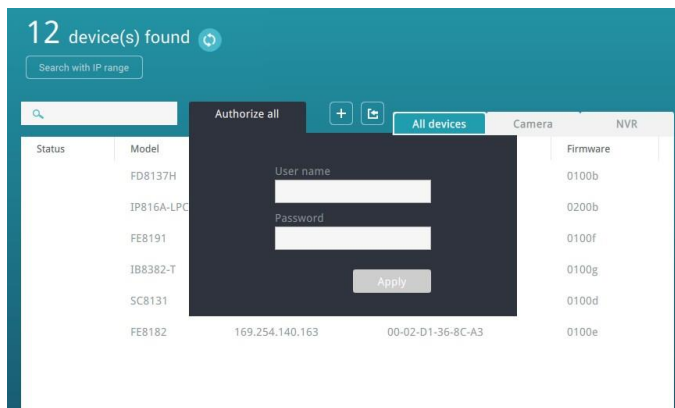
- 1つのサブネットを検索条件とするときは、検索条件としてアスタリスク“*”を入力することができ、例えば、192.168.6.*とします。
- Tabキーで1つのオクテット値から他のオクテット値に移動します。
- “From”アドレスと“To”アドレスを特定することで複数のサブネット間の検索が可能です。例えば、From - 192.168.6.0およびTo - 192.168.40.255と入力します。
- “From”アドレスと“To”アドレスを用いて複数のサブネット間の検索をする場合は、アスタリスク*は使えません。
- IP範囲として、172.*.1.1を設定することができ、この場合は172.0.1.1～172.255.1.1の範囲の全てのデバイス、すなわち、172.0.1.1, 172.0.1.2 …… , ～ 172.254.255.255, 172.255.1.1がリストアップされます。
- オクテットフィールドを空欄とすることはできません。



IP範囲が大きいと、ユーティリティが検索結果を表示するまでの時間が長くなります。範囲が100,000アドレスを超えると、サーチは中止されます。

事前に設定されたパスワードで保護されたデバイスについては、左クリックで選択し、[認証]ボタンをクリックします。これによりデバイスへのアクセスが認証されて、更に設定を行うために選択することが可能となります。カメラの認証は、[全てのデバイス]および[カメラ]タブの両方で処理できますが、NVRの認証は[NVR]タブのみで実行可能です。

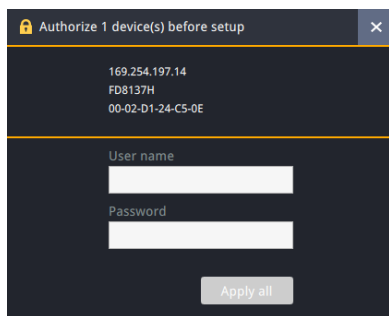
認証を行わないと、設定のためにデバイスを選択する度にパスワードの入力を促されます。



認証を行わないと、あらゆる機能の実行のためにデバイスを選択する度に認証情報の入力画面が表示されます。

以下の英数字のみがパスワードの文字としてサポートされています：

a-z, A-Z, 0-9, !%-.@_~



以下の文字は、全ての機能設定ウィンドウで使用不可となります：

“ ” < > & = ; | ` \$ ()

認証されると、デバイスの先頭に[オンライン]アイコン  が表示されます。一度に複数のデバイスの認証を行えますが、NVRの認証はNVRタブのみで行うことができます。

Status	Model	IP	MAC	Firmware
	AW-GET-094A-1...	192.168.4.162	00-02-D1-2F-B7-3C	0106
	FD8166A-5	192.168.4.158	00-02-D1-3D-A8-6A	0200u
	FE9391-EV	192.168.4.116	00-02-D1-5C-1A-84	0100f_22_a
	IB9367-HT	192.168.4.171	00-02-D1-5C-3A-63	0100e
	FD8365-HTV-v2	192.168.4.157	00-02-D1-62-89-BE	0101a_sam...
	IB9365-HT	192.168.4.185	00-02-D1-62-8A-DC	0101b

認証されたカメラのホスト名は、カメラに対して個別に設定されている場合に 표시됩니다 (例えば、「応接室のFE9192」等)。名前が長過ぎる場合、省略記号の“...”が表示されます。この機能は、rev. 3.4から利用可能です。

1 selected

Search with IP range

All devices

Camera

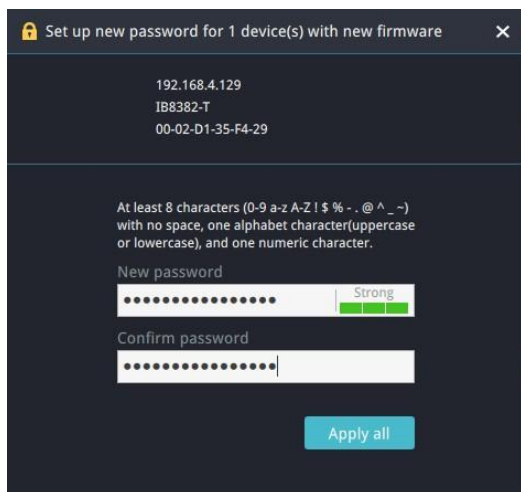
NVR

Status	Model	IP	Host name	MAC	Firmware	HTTP
	MD9582-H	192.168.51.209	MD9582-H_front_parlor	00-02-D1-93-F5-66	2.2003.34.0...	80
	IB9387-HT-A	192.168.51.145	IB9387-west-aisle	00-02-D1-88-5A-21	0100i	80
	VAST	192.168.51.20		24-41-8C-95-96-06	2.11.0.4623	3454
	VAST	192.168.51.211		08-97-9B-85-1B-5E	2.11.0.4623	3454

強力なパスワード設定

1台または複数のカメラに新規のパスワードを設定する際(認証機能)、Shepherdは、セキュリティ上の問題を考慮したパスワード設定を求めます。

アルファベットと数字の組み合わせを入力して、パスワード強度の要件を満たすようにしてください。カメラ管理者のデフォルト名は、“root”です。



Set up new password for 1 device(s) with new firmware

192.168.4.129
IB8382-T
00-02-D1-35-F4-29

At least 8 characters (0-9 a-z A-Z ! \$ % - . @ ^ _ ~)
with no space, one alphabet character (uppercase
or lowercase), and one numeric character.

New password

Confirm password

Strong

Apply all

ASCII文字の全てではありませんが、一部はサポートされています: !, %, -, ., @, ^, _, ~。
パスワードの文字の組み合わせにこれらを使うことができます。

パスワードの長さは少なくとも8文字とする必要があります。アルファベットと数字の組み合わせによって、パスワードの強度が決定されます。組み合わせが複雑であるほど、あるいはランダムであるほど、強度が高くなります。パスワード中のどこかに少なくとも1つの大文字、数字、または特殊文字を入れる必要があります。



重要:

ホーム下の全ての機能ウィンドウは、カメラを少なくとも1台選択することによってはじめて使用可能となります。

	カメラ機能ウィンドウ
	ホーム
	一括カメラセットアップ
	IPの自動割り当て
	メンテナンス
	VADP (VIVOTEKアプリケーション開発プラットフォーム)
	デバイスリスト&デバッグレポートのエクスポート
	情報

	NVR機能ウィンドウ
	ホーム
	メンテナンス
	デバイスリスト&デバッグレポートのエクスポート
	情報



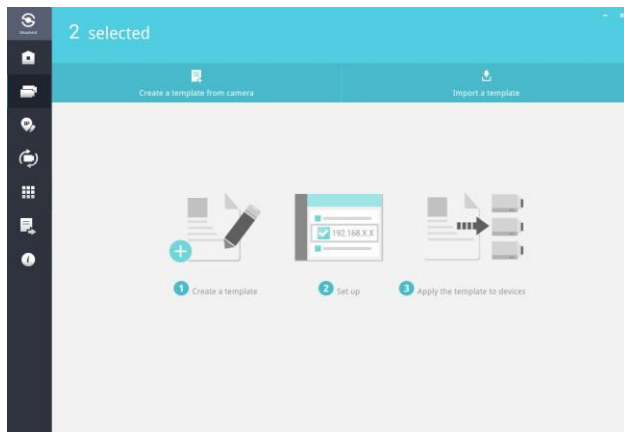
注記:

- モデルやファームウェアが異なるカメラを選択して、設定を行うことができます。
- オーディオやストリーム設定等のパラメータの変更時には、適用可能な変更は選択された全てのカメラに適用されます。例えばMPEG-4に対応しないモデル上でビデオストリームをMPEG-4に変更するなど、特定のカメラに適用できない変更については、自動的に無視されます。

4. 選択されたカメラについて、カメラのパラメータ、IPアドレス、ファームウェアのアップグレード、リセット、復元等の設定を開始できます。画面の左側の[機能]アイコンをクリックします。

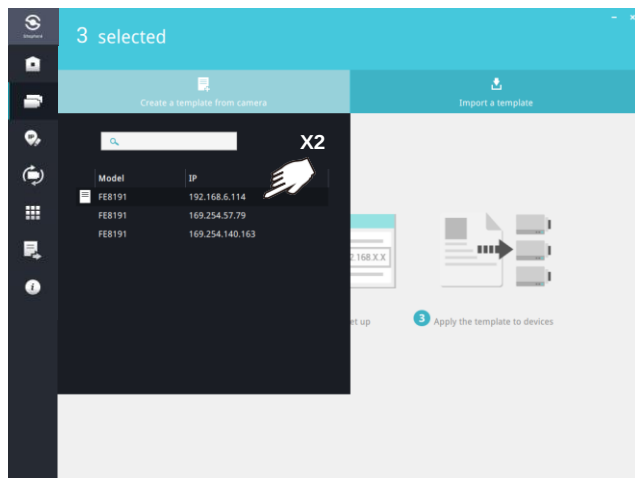
左パネルの[一括カメラセットアップ]をクリックします。

[カメラからテンプレートを作成]をクリックするか、既にテンプレートがある場合は、[テンプレートをインポート]をクリックします。

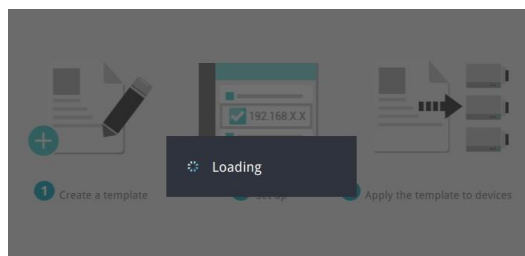


5. ドロップダウンリストからカメラを1台選択します。ダブルクリックでカメラを選択できます。カメラの構成プロファイルを用いた設定が開始されます。パラメータの修正は、経験のあるユーザが行ってください。

なお、Shepherdからアクセスできないパラメータもあります。



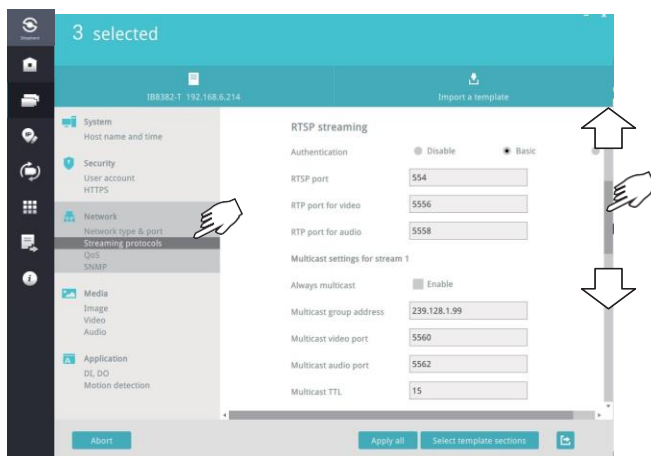
カメラの設定にアクセスして取得するのに、若干時間を要します。



6. 設定ページが表示され、サブウィンドウにはシステム、セキュリティ、ネットワーク、メディア、アプリケーションが表示されます。

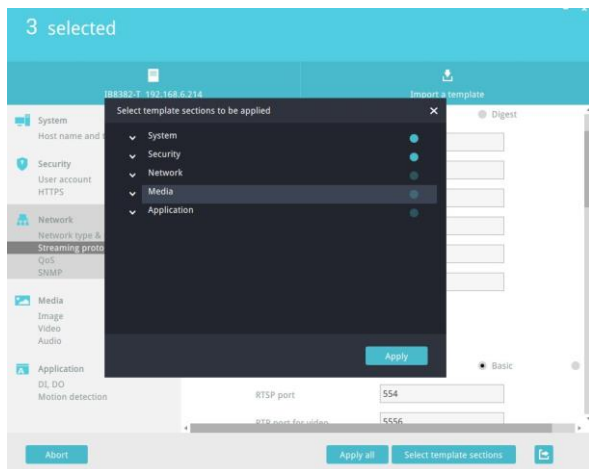
各設定オプションの詳細については、各カメラに付属の説明書をご参照ください。

サブウィンドウには多くのオプションが含まれます。サイドのスクロールバーを使って、全てのオプションにアクセスできます。



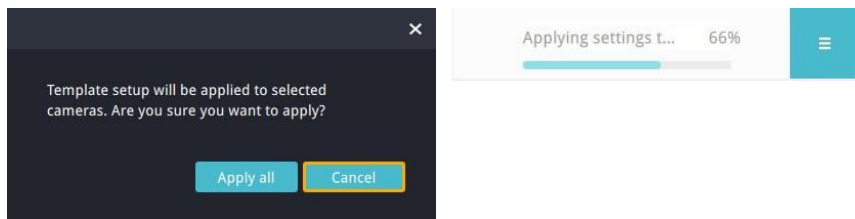
なお、Smart Stream IIに対応するカメラについて、スマートコーデック構成は、オートトラッキングモードのみに対応します。Shepherdでは手動モードとハイブリッドモードの設定はできません。

パラメータの変更の全てをカメラに適用する必要はありません。パラメータの変更を適用する際は、画面の下の特プレートセクションセクタを用いて、適用するセクションを指定できます。



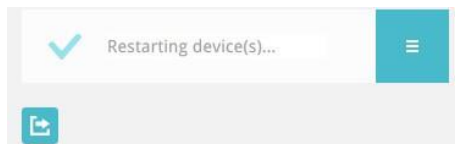
7. 構成パラメータの編集を終了する際は、[全て適用]ボタンをクリックして、選択されたカメラに変更を適用するか、[エクスポート]ボタン  をクリックしてテンプレートへの変更を保存します。カメラ設定テンプレートは、CSV(カンマ区切り値)ファイルに保存されます。

変更を中止するには、[中止]ボタンをクリックします。



変更の適用時に、例えば接続の問題等により問題が生じた場合、[再スタート]ボタンを使用して適用プロセスを再試行できます。

続いて、ホームページに戻るか、[エクスポート]ボタン  をクリックして設定の変更を保存します。

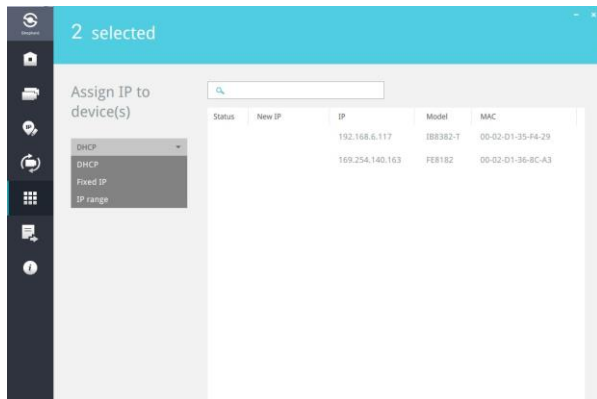


IPの割り当て

ここでは、IPアドレスを1台または複数のデバイスに割り当てることができます。

- IPは、DHCPサーバーから自動的に取得できます。
- IPは、IPアドレス範囲で割り当てできます。

固定IPを手動で割り当てる場合は、カメラは1台のみを選択してください。



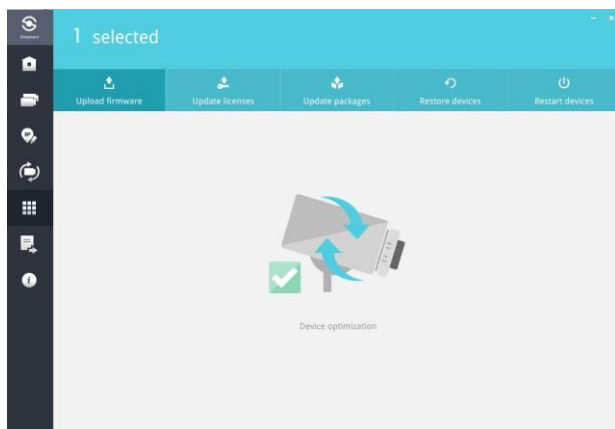
ネットワーク設定については、ネットワーク管理者にお問い合わせください。また、正しいゲートウェイおよびDNSサーバーアドレスが設定されていることもご確認ください。

メンテナンス

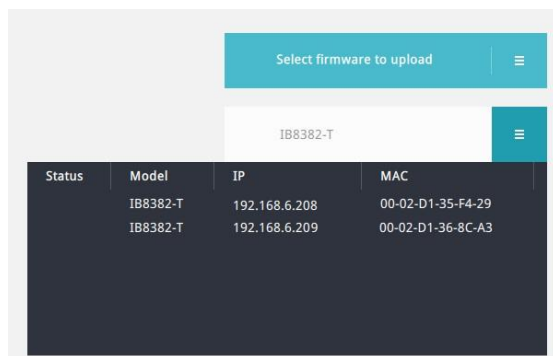
1台以上のカメラのファームウェア、ライセンス、パッケージ(ライン/フィールド検知または人数カウント等のVCAパッケージ)の更新を、この画面で行うことができます。また、カメラのリセットやデフォルトの復元も行うことができます。

ホームページから設定を行うカメラを選択し、[メンテナンス]ボタンをクリックして、トップメニューから更新機能のうちの1つをクリックして実行します。

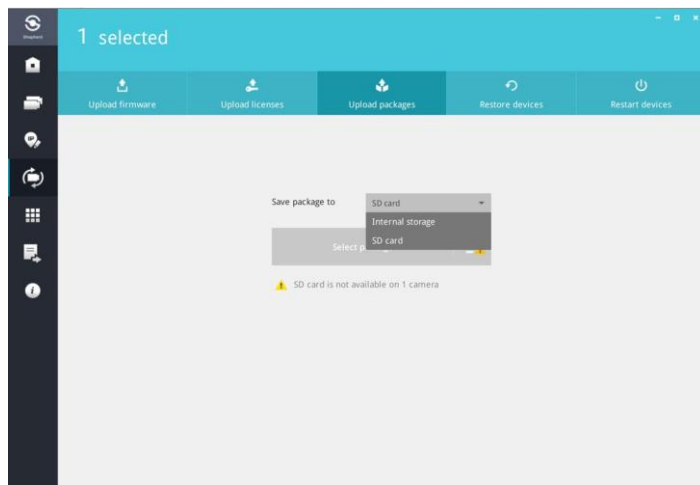
なお、ファームウェア、ソフトウェアライセンス、ソフトウェアパッケージは、このユーティリティを実行しているクライアントのコンピュータに手動でダウンロードする必要があります。Shepherdユーティリティは、最新の更新の自動検索は行いません。



画面にリストアップされているモデルのファームウェア/ソフトウェアファイルを選択します。同じモデルのカメラが複数ある場合、右側の[リスト]ボタンでリストアップすることができ、続いてそのファームウェアを同時にアップロードできます。

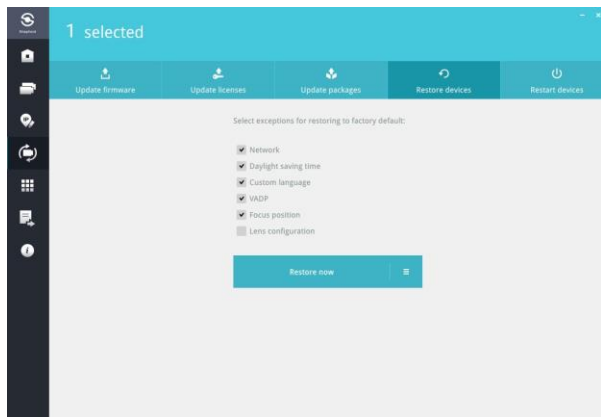


パッケージをアップロードする際に、既にインストールされているカメラのフラッシュメモリまたはSDカードにアップロードすることを選択できます。

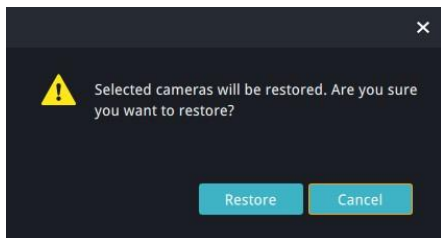


デフォルトの復元:

カメラのファームウェアのデフォルトの復元が必要な場合、全てのパラメータをデフォルトに戻すことなく、現在のパラメータの一部を保持することが可能です。これらのパラメータには、ネットワークパラメータ、夏時間、カスタム言語、VADP、焦点位置、レンズ構成が含まれます。



確認ボックスが表示されます。**[復元]**をクリックして次に進みます。



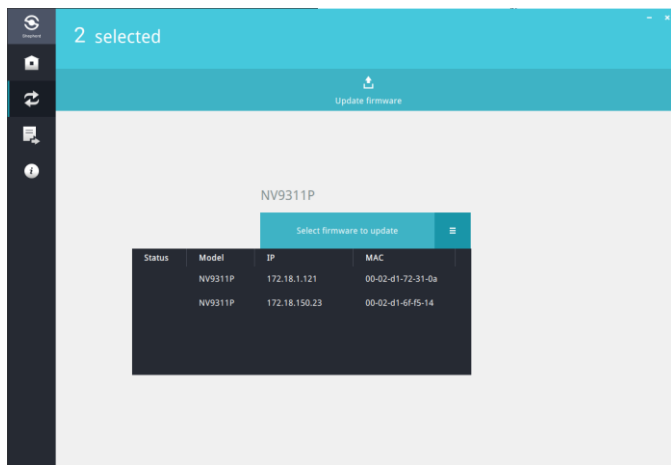
[復元]ボタンの隣の**[リスト]**ボタンを使って、デフォルトが復元されるデバイスを確認することができます。

		Restore now		≡
Status	Model	IP	MAC	
	IT9389-HT	192.168.5.112	00-02-D1-76-DF-94	

メンテナンス - NVR関連

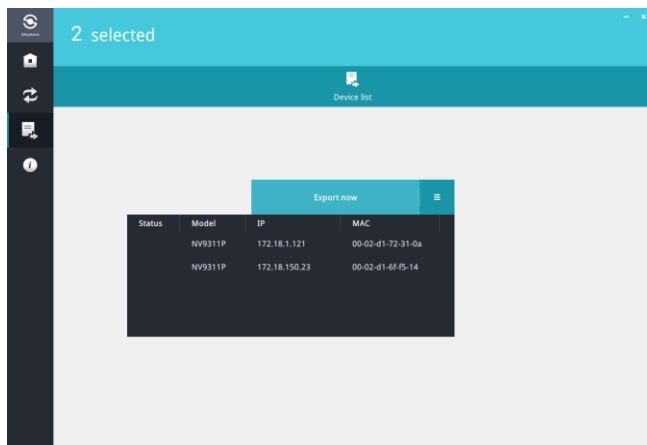
ファームウェアの更新 - 1台または複数のNVRを選択し、[メンテナンス]をクリックすると、ファームウェアが直ちに更新されます。

ホームページから設定するNVRを選択し、[メンテナンス]ボタンをクリックして、トップメニューから更新機能のうちの1つをクリックして実行します。

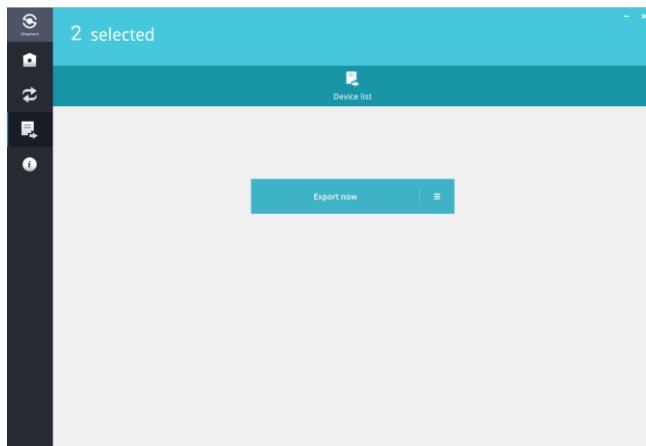


デバイスリストのエクスポート -

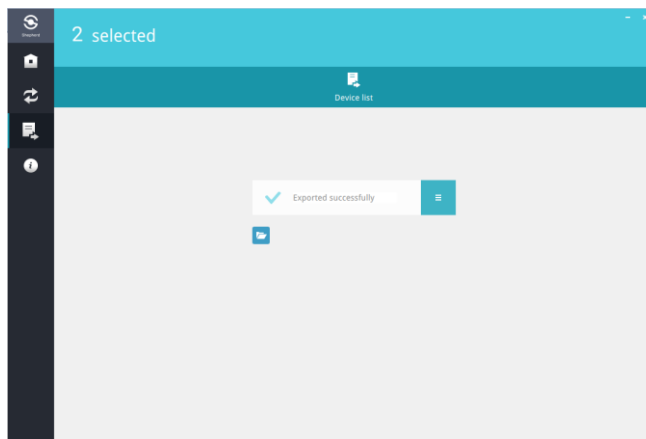
1. NVRを選択します。
2. [デバイスリスト&デバッグレポートのエクスポート]をクリックします。



3. [デバイスリスト]をクリックし、[今すぐエクスポート]をクリックします。



4. エクスポート成功のメッセージが表示されます。[場所]ボタン  をクリックしてデバイスリストにアクセスできます。

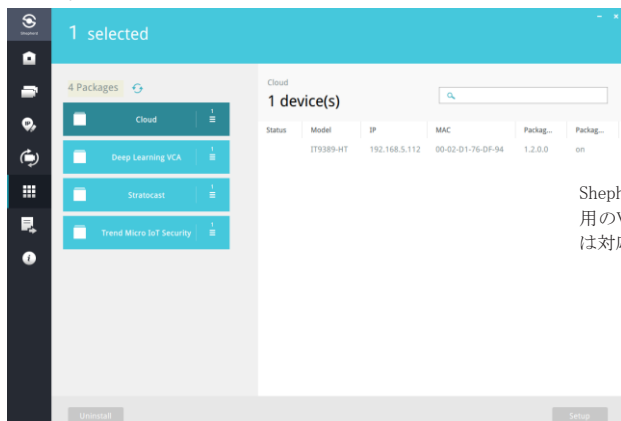


VADP

VADPには、ディープラーニングアナリティクスやトレンドマイクロIoTセキュリティパッケージ等のVIVOTEK製またはサードパーティ製のアプリケーションが含まれています。

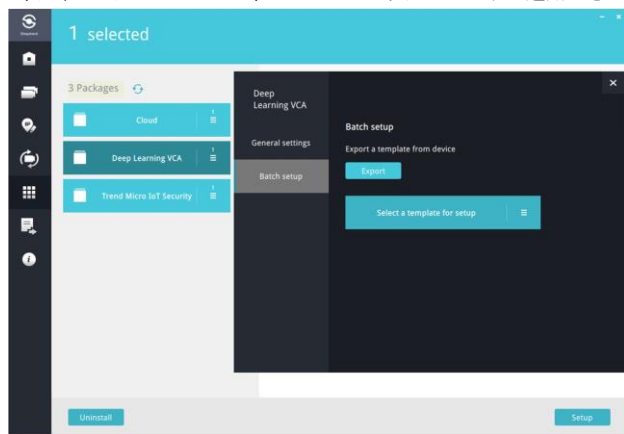
個々のVADPモジュールの有効化／無効化、設定テンプレートのアンインストールまたはエクスポートが可能です。

なお、ソフトウェアパッケージは、このユーティリティを実行しているクライアントのコンピュータに手動でダウンロードする必要があります。Shepherdユーティリティは、最新の更新の自動検索は行いません。

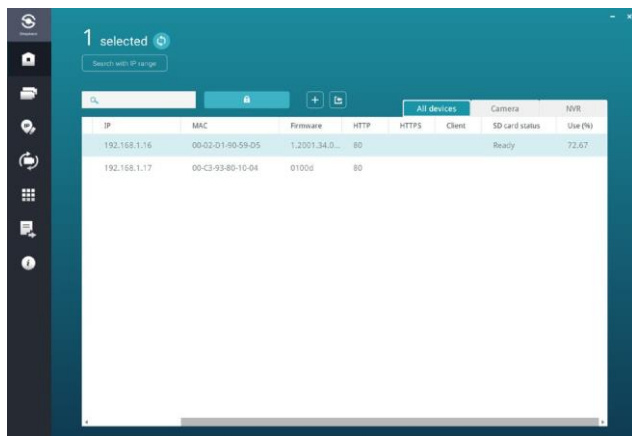


Shepherdは現在、クラウドパッケージ用のVADPパッケージセットアップには対応しておりません。

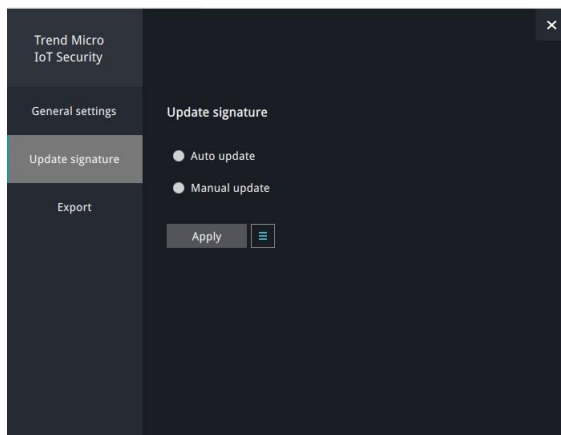
1台または複数のカメラに搭載するVADPモジュールの設定を選択できます。VADPパッケージの有効化、無効化、またはアンインストールが可能です。一括セットアップ機能は、ステレオトラッカー、ディープラーニングVCA、およびVCAパッケージのみに適用できます。



カメラにSDカードが挿入されている場合、パッケージはSDカードにアップロードされます。カメラ情報欄で、そのステータスを確認することができます。



[トレンドマイクロIoTセキュリティ]を選択して、シグネチャーを更新することができます(ウィルスおよびマルウェアデータベースの更新)。シグネチャーを手動で更新することができますが、最新のシグネチャーへのカメラの自動更新も可能です。



A screenshot of the 'Export Logs' dialog box. The dialog has a dark gray header bar with the title 'Export Logs' in white. Below the header, there is a light gray sidebar on the left with three menu items: 'General settings', 'Update signature', and 'Export'. The 'Export' item is highlighted with a darker gray background. The main area of the dialog is white and contains a large blue button labeled 'Export now'. To the right of the button is a vertical line and a hamburger menu icon (three horizontal lines).

2 selected

2 Packages

ANPR

Batch setup
(The VADP package version must be later than 3.2.6.5)

Export a template from device

Export

Twitter icon

Checkmark icon

Select a template for setup

Apply

Package...	Package...
3.2.6.5	on
3.2.6.5	on

Uninstall

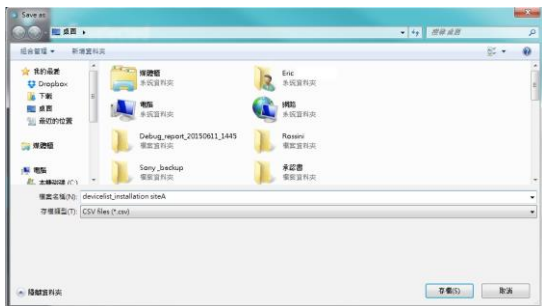
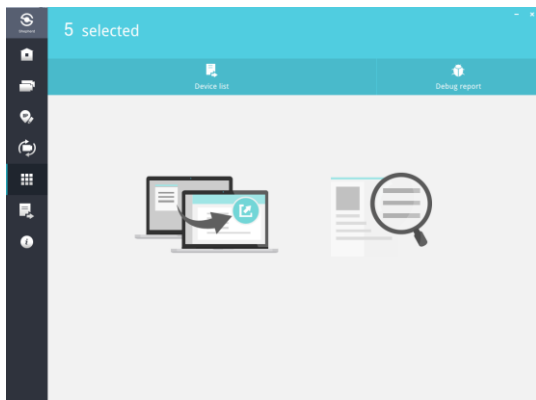
Setup

デバイスリストとデバッグレポートのエクスポート

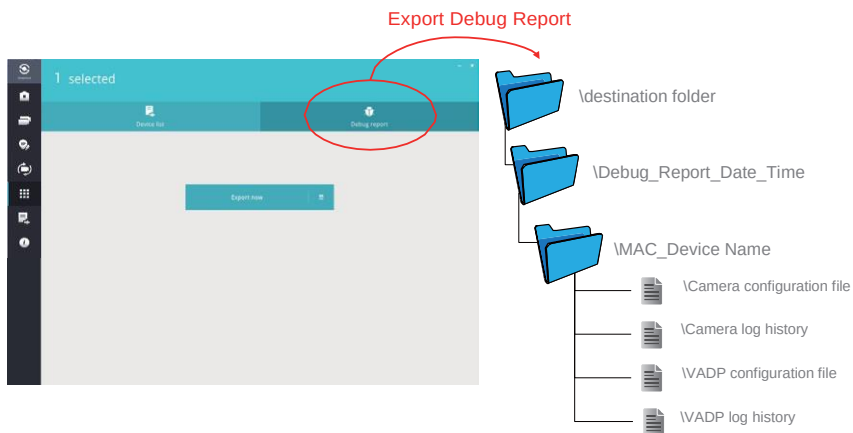
このウィンドウには、以下が含まれています:

- **デバイスリスト**は、選択されたカメラの情報を含みます。以前に保存したデバイスリストをホームページからインポートして、既定のカメラの配置から全てのカメラを接続して選択することも可能です。これは特に、配置されたカメラが異なるサブネットに属するカメラを含んでいる場合に該当します。
- **デバッグレポート**は、VIVOTEKのテクニカルサポートに連絡する必要がある場合に問題解決を容易にするイベントメッセージ、ログ履歴、接続ステータス、構成ファイルを含みます。VCA(ビデオコンテンツ解析)パッケージ情報も含まれています。

デバッグレポートをエクスポートする場合、デバッグレポートを格納する新規のファイルフォルダを作成する必要があります。

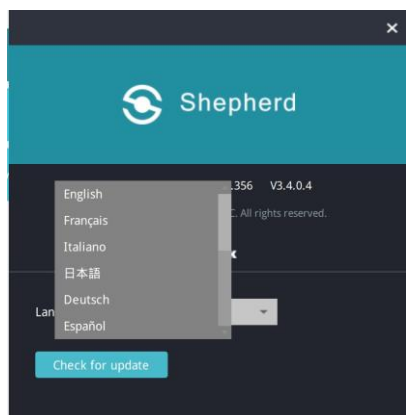


デバッグレポートは以下を含みます:



情報

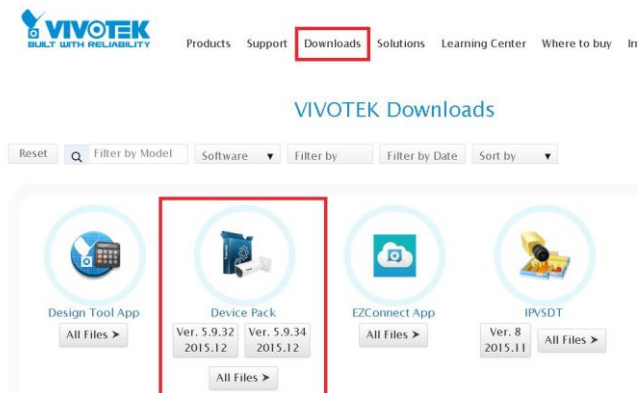
情報画面には、UIテキスト言語セクタへのアクセスと、ユーティリティの[自動更新サーチ]ボタンが表示されます。



デバイスパック

最新のVIVOTEKカメラの情報を含むデバイスパックの更新は、以下のように行います。

1. VIVOTEKのウェブサイトから最新のデバイスパック(*.vdp)をダウンロードします。



2. ファイルを保存し、Shepherd.exeファイルが格納されているのと同じフォルダで解凍します。Shepherdユーティリティを再起動すると、Shepherdユーティリティはデバイスパックファイルから取得した最新のパラメータを自動的に適用します。